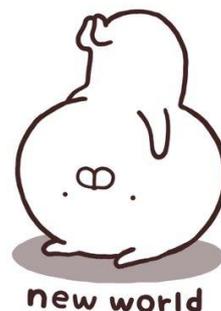


第12回南甲子園体操クラブ 発表会

とうりつきょうそう なわと きょうそう
倒立競争 と縄跳び競争 のルールについて



倒立競争 2021年度版

部 門 ①1～3年生

②4年生～中学生（選手クラスを除く）

③無差別級（①と②に参加していない中学生以上、選手クラス、保護者、OB、OGの方）

ルール ・ いっせいに倒立を行い、一番長く倒立の姿勢で止まっていた人の勝ちです。

↑ 審判が判断します。

- ・ 前転に行けなかった場合（足からおりた場合、ブリッジになった場合）は無条件で負けです。
- ・ ①、②は予選をし、6人まで勝ち残り、6人だけで決勝戦を行います。
- ・ ①、②では、歩行は原則禁止です。審判が歩きすぎていると判断した場合は失敗と見なします。
- ・ 決勝で2回勝ち残った者が優勝となります。
- ・ 無差別級は、一回勝負で前転に行けなくても長く止まった者が優勝です。
- ・ 無差別級のみ、倒立を保持した状態での他者への攻撃を認めます。そのため、いくら歩いてもいいことにします。（新ルール）

縄跳び競争

部 門 ①小学校1年生・かけ足とび

②小学校2年生・あやとび

③小学校3年生・二重とび

④小学校4年生・二重とび

⑤小学校5年生・二重とび

⑥小学校6年生・二重とび

⑦無差別級（中学生・高校生や大人の方）・二重とび

※未就学児部門はありません



ルール ・ 原則的に各自、自分のなわを使います。（無差別級参加の方はレンタルします。）

・ 競技中に縄が破損した場合も負けになります。

・ 競技者同士でぶつかり、ひっかかった場合も負けです。

・ 各部門それぞれのとび方で競い、引っかかったらその場に座ります。

・ 勝負が長引く場合は、一度止めて、より難しい技で勝負をします。

その時点で負けている人の復活はありません。

参加者には参加賞があります。優勝者にはトロフィーまたはメダルと副賞があります。

参加できるのは倒立、縄跳び、それぞれの部門に1回ずつ参加できます。参加者は当日に募ります。